

No.1 正の数・負の数の意味

0より小さい数 / 自然数

目標

- ① 0より小さい数（負の数）の存在を知り、正の数・負の数の意味を理解する。
- ② 整数・自然数など、数の仲間分けができるようになる。

① 0より小さい数

きみは「気温がマイナス3度」とか「5点ダウン」みたいな言葉を聞いたことがあるよね？

実は、数の世界には**0より小さい数**が存在するんだ。これが「**負の数**」だよ！

+

正の数（せいのすう）

0より大きい数のこと。+1, +2, +3, +0.5, $+\frac{2}{3}$ …

「+」の符号（ふごう）をつけて表すよ。ふだんの「ただの数」と同じだね！

-

負の数（ふのすう）

0より小さい数のこと。-1, -2, -3, -0.5, $-\frac{2}{3}$ …

「-」の符号をつけて表すよ。これが新しく登場する仲間だ！

0は正の数でも負の数でもない、特別な数だよ。境目（さかいめ）の数なんだ！

問1

次の数を、正の数と負の数に分けよう。

+7

-3

+0.5

-12

-0.1

+100

正の数

負の数

② 自然数

ここからは「**数の仲間分け**」を覚えよう！数にはいろんなグループがあるんだ。

数の世界

正の数

自然数（= 正の整数）

1, 2, 3, 4, 5 …

+0.5, $+\frac{2}{3}$ など

0

負の数

負の整数

-1, -2, -3 …

-0.5, $-\frac{2}{3}$ など

おぼえよう

自然数 = 正の整数 (1, 2, 3, ...) のこと。0は自然数に含まれないよ！

※中学校では自然数を 1, 2, 3, ... とすることが多いよ

整数 = ..., -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, ... のこと。小数や分数は整数じゃないよ。

問2 次の数を、下の表の正しい場所には書き入れよう。

-5	+3	0	-0.7	+8	-11	+0.2
-1						

自然数	正の小数 ・ 分数	0	負の整数	負の小数 ・ 分数

問3 次の文章を読んで、() に「正」か「負」を入れよう。

- (1) 0より大きい数を () の数という。
- (2) 0より小さい数を () の数という。
- (3) +5 は () の数である。
- (4) -2.3 は () の数である。
- (5) 0 は () の数でも () の数でもない。

問4 次の各問いに答えよう。

- (1) 自然数を小さい方から5つ書きなさい。

- (2) -4 より 1 大きい整数を答えなさい。

- (3) 次の数のうち、整数であるものをすべて選びなさい。

+6	-0.3	0	-7	+2.5	-10	+0.1
+1						

問 5 正の数・負の数を使って、反対の意味をもつ量を表してみよう！

たとえば、500円の収入を **+500円** と表すと、500円の支出は **-500円** と表せるよね。

このように、反対の意味をもつ量は、正の数・負の数を使うとスッキリ表せるんだ！

この考え方を使って、次の（ ）に当てはまる数量を書こう。

- (1) 3℃高いことを **+3℃** と表すとき、5℃低いことは（ ）℃と表せる。

- (2) 北向きを正とするとき、200m南は（ ）mと表せる。

- (3) 2kg増えることを **+2kg** と表すとき、4kg減ることは（ ）kgと表せる。

- (4) 1000円の収入を **+1000円** と表すとき、800円の支出は（ ）円と表せる。

ポイント：「基準と反対の向き」は「-（マイナス）」で表すんだ。基準を決めることが大切だよ！

まとめ

0より大きい数 → 正の数（通常は+を省略する）

0より小さい数 → 負の数（-をつける）

0は正でも負でもない

自然数 = 正の整数（1, 2, 3, …）※0は含まない